

[専門教育関連科目/環境の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障論	NSF32_002	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
池谷 進	教員控室	kango	随時メール等で質問等受付		
授業の目的・概要	看護師・保健師として、対象とする個人・集団に対して社会保障制度の活用のための情報提供ができることを目的に、我が国における社会保障制度の歴史的な生い立ちと社会的背景、医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険等の公的保険制度と理念、さらには生活保護、障害者福祉、児童福祉、老人福祉などの社会福祉諸法の制度と理念について理解する。併せて、変化する社会の中で今後の諸制度のあり方についても学習する。特に年金・医療・介護の社会保険と、生活保護、障害者福祉などを中心に、制度の仕組みと内容、手続等についてテキストや資料を基に講義する。なお、授業は対面での実施が可能となるまでは講義やフィードバック等をオンラインを活用して実施する。				
学習上の助言	社会保障制度をめぐる、めまぐるしい制度・政策の変化についてマスコミ報道等（新聞・インターネット等）を利用したり、関係省庁、機関等のホームページ等を確認したりすることで最新の情報や動きを知り、社会保障の今後についても理解を深めてほしい。				
教科書	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③社会福祉（第13版）/編著：西村淳/メディカルフレンド社 /2020年 その他必要に応じてプリントを配布する				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会保障制度の歴史的経過について理解する。		NS(1)		
②	社会保障制度（医療保険、年金保険、介護保険）に関する知識を十分理解し活用できる。		NS(1)		
③	社会福祉（福祉6法及び関連法）に関する知識を十分理解し活用できる。		NS(1)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明、社会保障制度全般の概要について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業	各回で学ぶ事項について教科書を読み、難解な事項やキーワードを予習しておく。	2	
2	医療保険制度（健康保険と国民健康保険、共済制度）について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業	医療保険の仕組みと給付内容（現物・現金給付等）について、理解しておく。不明な点等は厚生労働省、関係機関のHP等で明らかにし、理解を深める。	4	
3	医療保険制度（国民健康保険、後期高齢者医療、その他の制度）について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業		4	
4	介護保険制度について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業	介護保険の仕組みと給付内容等について、理解しておく。不明な点等は厚生労働省、関係機関のHP等で明らかにし、理解を深める。	4	
5	年金保険制度全般の概要について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業	高齢・障害・遺族の各年金制度について、その内容等を理解しておく。不明な点等は厚生労働省、関係機関のHP等で明らかにし、理解を深める。	4	
6	年金保険制度（国民年金・厚生年金）について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業		4	
7	社会福祉制度（生活保護、児童福祉等）について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業	生活保護及び障害者総合支援法等の仕組みと給付内容等について、理解しておく。不明な点等は厚生労働省、関係機関のHP等で明らかにし、理解を深める。	4	
8	社会福祉制度（障害者福祉等）について学習する。社会保障制度の動向について学習する。メディアを活用した授業中の質疑応答や、リアクションペーパーを活用した授業後のフィードバックも行う。	同時双方向型授業		4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育関連科目/環境の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	60	0	0	10	70
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
レポート	①	✓	教科書や授業を通して学んだことと、資料や他の情報などを基に、示された課題についてレポートを作成する。その際、インターネットや資料からの引用だけでなく、自身の言葉で自身の考えを必ず記載すること。評価割合は80%とする。 なお、他の学生とレポート内容（一部あるいは全部）が一致（あるいは酷似）していた場合はD判定とする。				
	②	✓					
	③	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①	✓	毎回の講義毎にリアクションペーパー（メディアを活用）を利用した理解度チェックを行う。それを基にした評価を行う。評価割合は20%とする。				
	②	✓					
	③	✓					
備 考							
教員の実務経験：医療ソーシャルワーカーとして約30年の現場経験（総合病院、精神科病院、社会復帰施設）あり。							
新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWiFi環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更される可能性があります。							